



もふもふいす

セミの声に負けないくらい、元気いっぱいな子どもたちです。

8月上旬は、RS ウイルスなどの感染症が流行し、クラス全員揃うことが少ない月でしたが、久しぶりに登園ができた子どもたちは友達や保育教諭と会えてとても嬉しそうでした。8月後半は、9人全員揃うことが増え、にぎやかで明るい毎日を過ごすことができました。感染症などに今後も気を付け、水分補給をしっかりと取っていきたいと思います。



りす組の生活リズムにもすっかり慣れ、見通しを持って過ごせることが増えてきました。最近では保育教諭が声掛けをする前に子どもたちの方から「にゅうにゅう～（牛乳）」「お片付けよ～」と声を掛け合って行動する姿が見られるようになり子どもたちの成長に日々驚かされながらも、とても嬉しく思います。そして、今月から食事後などの挨拶が終わった後に、自分たちで椅子を机の中に閉まってから次の活動に移るという新たな習慣を取り入れています。保育教諭の声掛けがあると、「ぎゅっぎゅ～」と言いながら上手に椅子をしまえるようになり、毎日の習慣により少しずつ意識的に自然とできる子が増えてきたように思います。毎日の繰り返しで、自分でできることを増やしていき習慣へと身に付いていけるといいなと思います。

着替えの際に衣服の着脱を挑戦し頑張っています。無理のないように1人1人に合わせた援助をしながら、子どもたちの自信に繋げていけるよう様子を見ています。まずは、ズボンを脱ぐことから始めました。腰から下におろすことはできても、どうしてもオムツに引っかかってしまい難しさを感じる子や、イライラしてしまう子などがいましたが、子どもの気持ちに寄り添いながら、保育教諭が手を添えて一緒に行っていくことで落ち着いて挑戦ができるようになってきました。そして、脱ぐことができるようになった子から、ズボンを履くことに挑戦しています。履くときは脱ぐときとは違い、足を片方ずつ裾に入れなければいけません。1つの裾に両足が入ってしまうことがよくありますが、

子どもたちは1つの裾に両足が入ることが面白いようで、できない…と不安になってしまうのではなく、楽しさへと変換できているところが子どもならではの発想の面白さだと感じました。できないと諦めてしまうのではなく、保育教諭が「もう一回頑張ってみよっか」と声を掛けるともう一度集中をして取り組んでいます。再挑戦をし自分でできると、「できた～」と嬉しそうな表情で保育教諭とハイタッチをして喜びを共感合っています。自分でできることが増える中で、達成感となり、着脱だけではなくその他のことにもやってみたいという意欲に繋げていきたいと思います。



～絵本紹介～

給食前に「やさいさん」という絵本を最近毎日読んでいます。「やさいさん」の表紙がにんじんの絵なので、子どもたちは給食前になると「にんじんさん！にんじんさん！」と待ち遠しい様子です。野菜に親しみを持ってほしいという思いがあり、読み始めたのがきっかけでした。「すっぽーん」の掛け声が大好きで子どもたちも一緒になって「ぽーん！」と言いながら楽しんで見えています。野菜が苦手でありあまり食べられなかった子も、給食の時に、にんじんや大根を見つけると「ぽーん！にんじんさーん」と言いながら嬉しそうに食べられるようになりました。また、繰り返し読んでいく中で、にんじんや大根の絵が大きいことから、「おおきいね～」と話したり、ジャガイモや里芋の絵が沢山連なっていることから、「いっぱいだね～」と絵を見て大きさや量などにも着目し、様々な視点から楽しんで見る子も増えてきました。



5日（木）ひよこ・りす組祖父母参観

20日（金）身体測定

27日（金）お誕生会

